

環境 混ぜればゴミ、分ければ資源！

問 住民環境課 環境対策係
☎476-1111(127・128・160)

◆河川水質・隔週測定検査結果報告

～町では年2回、夏（8月）と冬（2月）に河川水質と悪臭の検査を実施しています～

○河川水質検査

水質汚濁に係る環境基準に基づき、生物化学的酸素要求量（BOD※1）、浮遊物質（SS※2）、大腸菌群数※3の数値を任意の12カ所で測定し、各水域の利水目的に応じた生活環境の保全に生かしています。

川には類型があり、きれいな川の水質を示す基準が定められています。基準よりも数値が高ければ高いほど、川は汚れていることとなります。川の水質汚染は、生活排水が原因の1つと考えられます。きれいな川を維持するために、合成洗剤をできるだけ使わない、洗剤の量を減らすなどの努力をしましょう。調理に使用した油は排水に流さず、資源ごみ収集に出すようにしましょう。

※基準値を超えた箇所のみ掲載しています。

基準値類型 A	採水時期	平成28年 8月			平成29年 2月		
	項目	BOD	SS	大腸菌群数	BOD	SS	大腸菌群数
	単位	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	MPN/100ml
	基準値	2.0	25.0	1,000	2.0	25.0	1,000
菱田橋（菱田川）		2.6	8.7	35,000	2.4	10.0	54,000

基準値類型 C	採水時期	平成28年 8月			平成29年 2月		
	項目	BOD	SS	大腸菌群数	BOD	SS	大腸菌群数
	単位	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	MPN/100ml
	基準値	5.0	50.0	—	5.0	50.0	—
谷迫橋（持留川）		5.1	7.0	92,000	10.0	9.4	240,000
小能橋（田原川）		4.2	6.7	35,000	12.0	15.0	240,000

※1 BOD：水中の有機物を微生物が分解するのに必要とされる酸素量の指数。

※2 SS：水中に浮遊する粒子径2mm以下の不溶解物質のこと。

※3 大腸菌群数：水中に含まれる大腸菌群を数値化したもの。し尿汚染の指標とされる。

○悪臭測定検査

悪臭防止法とは、事業活動が原因で発生する悪臭について必要な規制を行うことで生活環境を保全し、住民の健康を保護する目的で施行されました。

町は悪臭防止法に基づき、規制地域内にある工場・事業場のうち任意の3地点で測定検査を実施しました。不快なにおいの原因となり、生活環境を損なう恐れのある特定悪臭物質の測定結果を公表します。

なお、今回の検査結果におきましては全て基準値未満となりました。

平成28年 8月採取					
項目	アンモニア	メチルメルカプタン	硫化水素	硫化メチル	二硫化メチル
基準値 (単位ppm)	2.000	0.004	0.060	0.050	0.030
A地点	0.2	0.0002未満	0.002未満	0.001未満	0.0009未満
B地点	0.1未満	0.0002未満	0.002未満	0.001未満	0.0009未満
C地点	0.1未満	0.0002未満	0.002未満	0.001未満	0.0009未満

平成29年 2月採取					
項目	アンモニア	メチルメルカプタン	硫化水素	硫化メチル	二硫化メチル
基準値 (単位ppm)	2.000	0.004	0.060	0.050	0.030
A地点	0.1未満	0.0002未満	0.002未満	0.001未満	0.0009未満
B地点	0.1未満	0.0002未満	0.002未満	0.001未満	0.0009未満
C地点	0.1未満	0.0002未満	0.002未満	0.001未満	0.0009未満

●アンモニア：し尿の刺激臭。

●メチルメルカプタン：腐った玉ねぎのようなにおい。

●硫化水素：腐った卵のようなにおい。

●硫化メチル：腐ったキャベツのようなにおい。

●二硫化メチル：腐ったキャベツのようなにおい。